

2013年1月20日

## 恒例「二月祭」のご案内

年明け以来、近来にない寒さが続き、いまさらながら北海道の冬を実感いたします。めずらしく湯たんぽなど持ち出して、子どもの頃を懐かしく思い出しております。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

4回目となる「二月祭」のご案内をさせていただきます。今年は1月26日から2月16日までの3週間。期間は短いですが、とびきり濃い内容となっております。以下におすすめポイントをご案内申し上げますので、「二月祭総合チラシ」や各イベントの個別ちらしと併せて内容をご確認の上、ちらし裏面の「予約票」でご予約ください。どうぞお誘い合わせでご来場くださいますよう、心からお待ち申し上げます。

### ●1月26日(土)

トウバ民族音楽家・等々力政彦 ライブ&トーク第2弾

出演 等々力政彦(演奏とお話)、瀬尾高志(コントラバス)

※等々力さんは、モンゴルの隣の小さな国「トウバ」の研究者であり、その民族音楽の演奏家です。昨年夏に続き2度目のライブ&トーク。なにしろお話が面白い。異世界を旅する気分です、いらしてください。

### ●2月2日(土)

クリスタルボウルと琵琶の演奏会

出演 平悦子(薩摩琵琶)、光輝(ボイス、クリスタルボウル)

※たいらさんの薩摩琵琶、光輝さんのクリスタルボウル、独創的な音の魅力をたっぷりとお楽しみください。午後と夜、別プログラムで公演します。

### ●2月3日(日)

古楽への誘い vol.2

出演 物部憲一(バロックバイオリン)、土井奏(バロックバイオリン)

宇田梓(バロックチェロ)、近江宏(チェンバロ)

※近代弦楽器が確立する以前の、仕組みや演奏法が微妙に異なるバロック楽器が、静かな人気を呼んでいます。札幌団員他による古楽コンサートシリーズ第2回目。

### ●2月6日(水)

ジャンさん体操 ワークショップ 講師:ジャン・ローレン・サスポータス&齊藤徹

### ●2月7日(木)

ダンスと2台のコントラバスによるライブ

出演:ジャン・ローレン・サスポータス(dance)、齊藤徹(contrabass)、瀬尾高志(contrabass)

※ピナ・バウシュ舞踊団のソロダンサーとして30年以上活躍してきたジャンさんがひよんなことからレッドベリーにやってくる、2台のコントラバスとのライブ公演をしてくださることになりました。北海道で初めて、1回きりの公演です。

6日夜のワークショップは、ダンサーや俳優でなくとも、一般の人でもOKだそうです。身体がすっと軽くなるそうですよ。7日の公演は50人限定。とても窮屈な客席になりますがご容赦ください。2日間セットで割引があります。お早めにご予約ください。

<ウラへ>

●2月8日(金)

柳家三之助 第2回 福を呼ぶ落語会

※前回、大盛況のうちにスタートした三之助さん in 琴似の第2弾。

今回はどんな演目が飛び出すか、当日のお楽しみ。

●2月11日(月・祝)

詩人たちによる自作朗読の夕べ ～江原光太追悼

※恒例「二月祭・朗読の夕べ」は、作者みずから自作を朗読する会です。詩でも、俳句でも、ジャンルは問いません。どうぞ、どなたでもお気軽にご参加、ご来場ください。今年は特に、第1回から欠かさず参加してくださり、昨年9月14日に亡くなった詩人の江原光太さんを追悼する場といたします。

江原さんは、古くから詩の朗唱を実践してこられた方で、1980年代に朗読とアート展示の催し「二月祭」を主催しました。レッドベリースタジオの二月祭はここからタイトルをお借りしたものです。参加者それぞれの胸にある江原さんに向けて、言葉を発し、耳を傾けたいと思います。

●2月14日(木)

「With You 4 ～あなたと夜と音楽と弦巻と～」

※バレンタインデーの恒例、弦巻啓太さんのワンマントークショー。

今回は「朗読」がテーマ。多種多様な文章を味わい楽しむ様々な試みにご注目ください。

●2月16日(土)

ロシア語で『百万本のバラ』を歌おう

※「二月祭」では毎回、「ことば」に関わる企画を盛り込んでいます。

第1回はアイヌ語の魅力。第2回シェイクスピアスピーチ。第3回ニール・サイモンの戯曲。そして今回はロシア語をとりあげます。講師の依田幸子さんのアイデアで、よく知られている歌をロシア語で歌ってみよう、というティータイムのひとつです。

どなたもお気軽にご参加ください。

レッドベリースタジオ

飯塚優子

札幌市西区八軒2条西1丁目 札幌琴似教会裏

電話 011-633-2535

FAX 011-633-3565

Email info@akai-mi.com